



Via Latina 22

2018年11月 274号

総本部よりのお知らせーマリア会



スイス地域共同体の責任者として Roland Gruber士が再任される

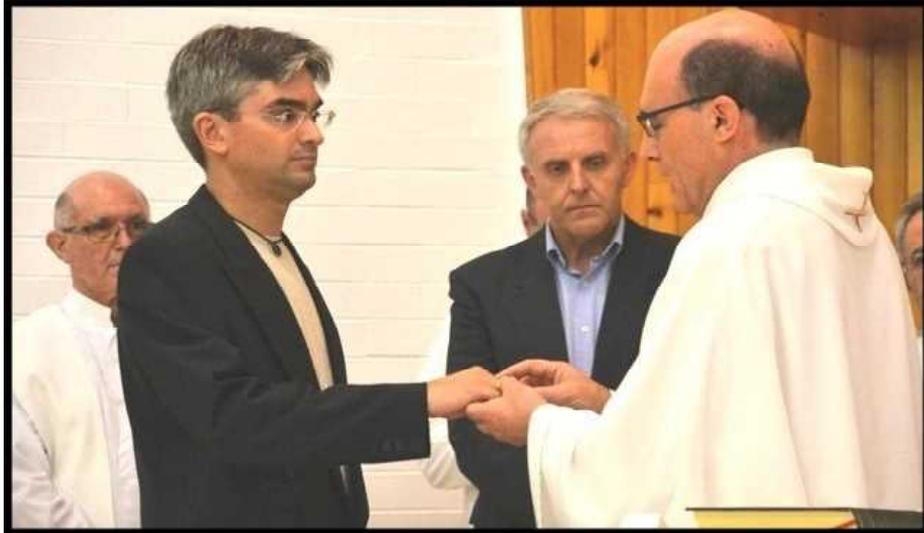
総長評議委員会は最近スイス地域共同体を訪問し、共同体の責任者について彼らの意見聴取を行いました。ほぼ全員のメンバー出席の下、総長 André Fétis 師は総長評議員会が Roland Gruber 士に2期目3年間、責任者としての現在の任務を継続するよう要請したと公表しました。

私たちは彼がこの任務を寛大さを持って引き受けられ、喜んでスイスの会員たちへの誠実で兄弟的な配慮を継続するとの心に対して感謝します。また、地域共同体メンバーが心を開いて総長評議員会メンバーと意見交換が出来た事に感謝します。

世界各地のマリア会の終生誓願式

9月22日土曜日、スペイン管区は今年の最も重要な管区の式典の一つ、Sergio Miguel Martin 士の終生誓願の喜びを、バレンシアの柱の聖母高校で祝いました。

いつもの事ながら、簡素で意味深い誓願式にはマリアニストのスタイルと Sergio の独特のタッチが表現されていました。この誓願式は、友人たち、会員たち、家族、更には他の参列者で構成されたコーラス隊が奉仕する喜びに満ちたものでした。



(写真) 左から右へ

マリア会 José de Vincente 師、Sergio Miguel Martin 士、
副管区長 Miguel Ángel Dieste 士、そして管区長 Miguel Ángel Cortés 師

2018年10月6日、アメリカ合衆国管区の Mark Motz 士と Sylvester (Syl) Burkemper 士が、テキサス州、サンアントニオの聖ロザリオ教会でのミサ聖祭の間に終生誓願を宣立しました。アメリカ合衆国の管区長、Oscar Vasquez 師がミサ聖祭を司式し、彼らの誓願を受け入れました。

家族、友人、そしてマリアニスト家族のメンバーたち、約250名が列席しました。セント・メリー大学の大学センターでお祝いの会食が持たれました。



(写真) 管区長 Oscar Vasquez 師 (左)、Mark Motz 士 (中央)
Sylvester Burkemper 士(右)

2018年10月13日、メキシコ出身の José Luis González Molina 士がメキシコ Queretaro のグアダルルーペの聖母教会でのミサ聖祭の中で、終生誓願を宣立しました。アメリカ合衆国管区、管区長 Oscar Vasquez 師がミサを司式し、マリア会 John Thompson 師が説教を行いました。誓願式には多くの家族の人たち、友人そしてマリアニスト家族のメンバーたちが参列しました。その後、会食が持たれました。



(写真) 伝統的なダンサーに囲まれた José Luis González Molina 士

東京で修練院が再スタート

2018年10月2日、マリア会創立201年記念日の晩の祈りの時、3名のベトナム志願者が修練期に入るのを許されました。過去20年間、日本には修練者がなく、3名の修練者がいたのは44年前のことでした。これらの志願者が日本に来てから、日本語になじみ、召命を確かめるために既に4年が経過しました。地区長、洗礼者ヨハネ青木勲師が修練期に入る志願者たちの意志を確かめた後、彼らは修練期のための約束をしました。3名の修練者は次の通り：Gioan Baotixita (Jean-Baptiste) Lê Ngọc Đoàn, Phê Rô (Pierre) Lê Văn Sinh, An Tôn (Antoine) Hàm Văn Cầu。

アンドレ高田裕和師が修練長で、韓国 Gregorio Jung Hyeun Kim 士とマルチノ末吉克久師が補佐役です。これら養成者3名は新たな修練者を受け入れました。修練院長が各志願者の十字架を祝福し、首にかけて、一人ひとりと平和の挨拶を交わし、出席した全マリア会員が同様に平和の挨拶をしました。最後にお祝いの食事で行事が終了しました。

修練者も養成者も、全員が日本語で行われる養成が難しい事をよく認識しています。彼らがこの新

たなチャレンジを受け入れたのは、神のみむねを実現したいと望み、熱意に満たされているからです。彼らは皆さんの祈りの支援を願っています！



(写真) 左から右へ
マルチノ末吉克久師、修練長アンドレア高田裕和師、An Tôn (Antoine) Càu;
Gioan Baotixita (Jean-Baptiste) Đoàn; Phê Rô (Pierre) Sinh;
地区長 洗礼者青木勲師; Gregorio Jun Hyeun Kim 士

総長評議員会のスイス地域共同体訪問



10月に、総長評議員会のメンバー4名がスイスの地域共同体を訪問しました。この共同体は総長評議員会の直接管轄下であり、主としてシオンとフライブルグの二つの都市に位置しており、主に必要なヘルスケアを受けるために他の施設に分散している数名の会員がいます。共同体には12名のメンバーがいます。その中の1名はUSAのデイトンに在住し、他の全員はスイに住んでいます。共同体は老齢の修道者で構成されており、彼らは特定の事業体を持ちませんが、個人的には多様な働きをしており、しばしば小教区の手伝いや高齢者や病人を訪問する仕事を行っています。また彼らは長年にわたってスイスの修道共同体と関わりを持ってきた奉獻した信徒グループ（MLC）と交わりを保っており、かれらはマリアニスト精神に非常に鼓舞されています。

総長評議員会の訪問は今年の世界マリアニスト祈りの日に当たりました。これらの MLC 信徒会員は修道者と共にミサ聖祭とミサの一部である話し合いに出席しました。別の日に、総長評議員会はスイス地域共同体のメンバーとミサを捧げ、この夏の総会から出されたいくつかの方針について彼らと分かち合いました。

私たちはスイス地域共同体の兄弟的歓迎に感謝し、また、会員たち、特に病床にある会員たちのために祈ります。

2018年10月2日、カナダ地域共同体が誕生



(写真)：任務を引き受ける Florian 師
(右、G rard Blais 師)

2018年10月2日、マリア会創立記念日に、カナダのマリアニストは2つの出来事を祝いました：カナダ地域共同体の誕生と、その最初の責任者である Florian Royer-Chabot 師の就任式です。式典は St-Anselme 共同体で行われました。それはカナダ地区長の任務を終える G rard Blais 師によって司式されました。健康な全てのマリアニストが出席しました。更に信徒マリアニスト共同体のメンバー4名も加わりました：Jos e Roberge, Ga tane Gagn , Jacqueline Carrier そして Roger No l です。またアリアンスマリアルから Madeleine Couture が出席しました。

夕方の式典の内容は次の通り：

- 聖歌一曲（貴方は私に何をしてほしいのですか？ Robert Lebel による）；
- 聖書朗読（1 Cor 12, 12-31）；
- 最年長の会員による、2018年総会からのマリアニスト家族向けのメッセージの朗読；

- 地区長の任務を終える Gerard Blais 師の言葉；
- 新たなカナダ地域共同体の責任者として Florian Royer-Chabot 師の任命についての
マリア会総長 André Fétis 師の書簡朗読；
- Florian 師による委任状の朗読とそれへのサイン；
- マグニフィカット賛歌；
- Florian 師の言葉；
- 共同祈願；
- そして最後に兄弟的会食。

新たな責任者として Florian 師が次の誓約を読み上げました：

“2018年10月2日、マリア会創立記念日とカナダ地域共同体の初日に、私 Florian Royer-Chabot は、マリア会総長 André Fétis 師から委ねられた責任者の任務を引き受け致します。神の助けが私の上にありますように、また聖母マリアがこの使命において私を助けてくださいますように。”

トーゴでのマリアニスト創立60周年記念



マリア会の最初の会員たちがマリアニストの生活と宣教を彼の地で創立してから60年を記念するお祝いを始めようとしているトーゴ地区の会員たちに加わることを、私たちは大変嬉しく思います。11月10日に、ロメの大司教出席の下、祝祭の行事が行われます。この祝祭には私たちの2名の会員の終生誓願が含まれており、この終生誓願は、創立以来、多くの会員がしてきた終生の誓約にふさわしいしるしです。

初期のスイスの修道者たちから現在の修道者に至るまでの、非常に多くの修道者たちの生活

と宣教の証しを通して示された神の多くの恵みに対して感謝を捧げるよう、私たちは世界の全マリアニストを招きたいと思えます。もし皆さんがトーゴの会員たちの祈りに加わりたいとお望みでしたら、特にこの祝祭のため作られた祈りを使用してもいいでしょう。 <https://www.marianist.org/PDFs/PrayerTogo>



マリアニスト家族世界評議会（WCMF）がローマで開催



10月26日から28日にかけて、ローマ Via Latina 22にて例年通りマリアニス家族世界評議会が開催されました。このWCMFはそれぞれ4つの枝からの国際指導チームによって構成されています。4つの枝のうちの3つは、この夏、重要なリーダーシップの会議を行い、それぞれこの会議で新しい本部メンバーの選出を行ったので、今年は、お互に知り合う機会でした。こうして、それぞれが私たちの枝の歴史におけるこれら重要な出来事によって生み出された熱意を持って一緒に集まったので、単に顔ぶれが新らしくなっただけでなく、多くの話し合いが行なわれました。

話し合われた内容（皆さんに近々送付される年毎のメッセージの中にあるより詳しい報告書に注目ください）の中には、マリア会総会、韓国に於ける信徒マリアニスト共同体の国際会議、ベトナムとマラウイに於けるFMIの新たな創設、そしてアリアンス・マリアルの総会についての報告がありました。私たちは真の“カリスマ的な”家族として活動することによって、一緒に宣教活動を行いたいという望みを話し合いました。もちろん、私たちはまた、例えば世界マリアニスト祈りの日、マリアニスト召命のための祈りの日などのこれから集会の調整や、世界評議会（WCMF）後援の協働的努力、といった実践的な問題も提出しました。

私たちマリア会のメンバーは第35回総会による呼びかけを頭に置いてマリアニスト家族のメンバーとして私たちの役割を位置付けます。このWCMF年次会議はその呼びかけに既に具体的返答を考えられており国ベース、行政単位ベースあるいは地域レベルの同じような返答をもたらすよう願っています。

世界マリアニスト祈りの日の式典



ベトナム、ラバンの聖母マリア



コロンビア、ボゴタ



コンゴ民主共和国、キンシャサ

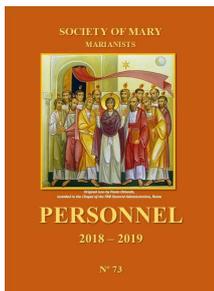
青年についての世界代表司教会議（シノドス）、 信仰と召命の識別



随分前から若者たちへの奉仕に係ってきた私たちマリアニストにとって最近終わったばかりの司教会議は最も興味深く、重要なものの一つです。確かに司教会議の最終結果を得るにはある期間が必要です。しかし行われた数々の討議、提起された諸問題、出席者たちの独特な多様性、これら全てが私たちの考察と意見交換のために素晴らしい材料を提供しています。

多言語による公式の <http://www.synod2018.va> 検索を勧めます。そこで皆さんは司教会議での発言、発案そしてニュースを読む事が出来ます。この重要な行事が若者と教会に成果をもたらすよう祈りを続けましょう。

2018 – 2019、国際名簿が発行されます



行政単位の本部は11月の初旬に郵送されることになっている2018 – 2019、国際名簿の新版を受け取るでしょう。例年通り行政単位はそれを自分たちの共同体に配布してください。私たちは出来るだけ正確に作成しました。しかしもし間違いがあったり最新のものがありましたらそれを書記局にお知らせください。

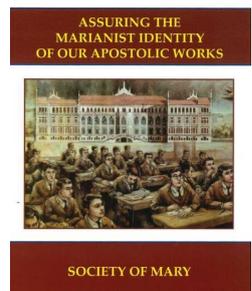
(secretariatSM@smcuria.it)

国際名簿の旧版については責任を持って適切に処分してください。不幸にしてもし内容が悪意ある人々の手に入ったら今日状況下、不都合さが生じます。

「宣教事業におけるマリアニスト的アイデンティティーの確保」

総長評議員会からの最新の文書“宣教事業におけるマリアニスト的アイデンティティーの確保”は最近の総会で承認されマリア会の3か国語で発行されました。そのコピーは行政単位内の各修道者と職場に十分な量で送付されます。

ある行政単位は信徒協力者へ配布するため又情報活動に使用するため追加部数を要請しました。それらも送付されます。追加コピーを要望する行政単位或いは職場があれば教育局長にコンタクトしてください。(geneducsm@smcuria.it)



最近の総本部通信

* 訃報: #25

* 10月24日: 霊生局長Pablo Rambaud 師から3か国語での書簡が行政単位の霊生補佐宛送付された。

* 10月22日: 2018年総会の“決議と方向付けの概要”が3か国語にて総長評議員会から全マリア会修道者に送付された。

総本部日程

* 10月29日—11月5日: Max Magnan 士がオーストリア、ウイーンでのヨーロッパ・マリアニスト会議 (CEM) に出席

* 10月29日—11月10日: Michael McAward 士がアメリカでの2つの会議に出席

* 11月8日—21日: Max Magnan 士がトーゴにて先生育成とトーゴ60周年式典に出席